

## 第43回生同窓会……タイムカプセルなんてあったっけ？

平成24年1月2日(於:安田小学校)

### 8年後の自分にあてた手紙

お正月真っ只中の1月2日、安田小学校に集まったのは今年成人式を迎える15人の男女。6年桜組の時に作ったタイムカプセルを開けにやってきました。ほとんどの者は、中に何が入っているか覚えていませんでした。中には、タイムカプセルの存在さえ忘れていた者もいました。

幹事の保崎君がゆっくりとタイムカプセルを開けると、中に入っていたのは8年後の自分にあてた手紙でした。手紙の中から1000円札や古い100円札が出てきた者もあり、ちょっとしたお年玉になりました。また、お母さんからのメッセージが入っていた者もいました。遅れて来た者には、ちょっとした罰ゲームです。時間通りに来た者は、みんな自分の手紙をみんなの前でご披露したから遅れてきたものも読むように言われ、素直にみんなの前で手紙を披露すると……当然読んだ者は一人もいません。でも、そこは昔の仲間、笑って許しあえるところが元クラスメートとしての友情の証しです。

一人ひとりの近況を報告しあうと、映像関係の勉強をしている者、興味を持っている者が多いことや歯学部についている者もいました。関東の大学に通っている者が多いこともわかり、43回生で関東同窓会を開こうという話も出ていました。

最後に校舎内を見て回り、安田小学校の施設の充実振りを目にし、あらためて母校の素晴らしさを実感したひと時となりました。(文責 山本)



この日にタイムカプセルを開けるという証拠です。



手紙を渡していく保崎君



お互い手紙の内容が気になります。